

中海上空の安全確保を・C-2部品落下問題

たちばなふみ市議一般質問④

たちばなふみ松江市議は6月議会、本年5月13日に起きた自衛隊美保基地配備の大型輸送機「C-2部品落下問題」について質問しました。

C-2からの部品落下は14回にのぼります。今まではビスやワッシャーなど小さいものでしたが、今回は、大きさが



たちばなふみ市議会議員

5センチ×50cm、重さも1.5キロと最大です。被害はなかったものの、学校や通学路など八東町全域が訓練コースであり、人や車に落ちたらと考えると大変な問題です。

たちばな市議は、これまでも、人家や学校等の上空を訓練コースから外すことや騒音被害対策を地域は要望してきたとし、①部品落下について市長の率直な思い、②原因究明のなされない段階での飛行訓練再開についての見解、③今後の住民の不安に対して松江市としてどう取り組むか、

④予定されている空中給油機配備等軍拡には反対すべきではないかと質しました。

永田明夫防衛部長は、誠に遺憾としながら「再発防止処置が行われ安全対策は確保されたことから飛行再開を了承した」「市民の安心・安全のために美保基地に対し、住民の要望である民家の上空を努めて避けて飛行するように引き続き要望する」「空中給油機の配備は国の防衛力整備計画で定められ同意したもので、国で責任ある対応がされると理解している」と答弁しました。

原発災害避難計画は福島事故に学び根本的見直しを

田中はじめ市議代表質問⑥

田中はじめ市議は6月議会代表質問で、原発事故時の避難計画について上定昭仁市長に質しました。

田中市議は、「福島事故から10年の節目を迎えた今年3月、様々なメディアが特集を組んだ。その中で、『2号機のベントに失敗し、格納容器破壊による大爆発の危機が迫り、故吉田所長は東日本壊滅



田中はじめ市議会議員

を覚悟したが、漏れてはならないはずの圧力容器からの圧力漏れにより、大爆発は奇跡的に免れた』など、多くの奇跡的な事情が幸運にも重なって、30キロメートル圏内の避難で済んだ。しかし、もしこのような事情がなければ、福島原発事故では、250キロメートル圏内の避難が必要なもの、東日本壊滅ともいわれる規模の事態だったという報道に多くの市民が接した。この情報に接した市民が、事故後一週間自宅待機という避難方針に従わず、一刻も早く250キロメートル圏外に出ようとし

ても不思議はない。政府主導の30km圏内の避難計画では、市民の信頼を得ることはできない」と指摘し、「政府から独立した機関による避難計画の根本的な見直しが必要ではないか」と質しました。

これに対し、上定市長は、「原子力規制委員会は福島事故の教訓も踏まえ、かつ、国際原子力機関の基準も取り入れて原子力災害対策指針を定めている。本市の避難計画はこの指針に基づき作成しており、現時点で見直す必要はないものと考えている」と答えました。

たちばなふみ市議

8月1日(日)、八東公民館において「八東の明日を考える会」が集いを開催し、18名が参加しました。

たちばなふみ市議は、6月議会でも取り上げた「中海や八東の地域の発展」や7月の大雨被害と対応などについて報告、尾村利成県議が、原発問題やコロナ対策など報告し、国政選挙は市民と野党の共同で政治の転換をと訴えました。

集いには、新しい特産作りの農家の方、牡丹庭園の方も参加、荒れ地対策、空き家対策、生活バス、原発問題等の現状や課題を交流しました。

八東の会は、住民アンケート実施や、閉鎖された「福祉総合センター」の活用を求める運動を報告、提案しました。安部八東支所長、野々村地域振興課長も参加し、住民と力合わせて地域づくりを行うと挨拶しました。



地域の要求を語りあうたちばなふみ市議

舟木けんじ市議

舟木ブロックでは、雑賀東支部主催での「雑賀シャベリングの会」が7月24日、プラバホールで開催され、11名の方が参加しました。初めに舟木けんじ市議の方から初議会での感想や、新市長の施政方針、初質問した「教員の未配置問題」「児童クラブの待機児童解消」「原発災害時の広域避難問題」についての概要を報告しました。

その後は、参加のみなさんの交流タイムになり、働き口や道路のお悩み相談、子ども食堂、児童クラブについてのご質

3市議が議会報告

問も出され、「コロナ禍で高齢者のみなさんは外出の機会も減り、元気がなくなってきている」などお話も出されました。雑賀東支部

では今後も続けていかれる予定です。他の地域でも、ぜひみなさんのお話をお聞かせいただきたいので、声をかけて下さい。



第4回 雑賀しゃべりんぐの会

田中はじめ市議

田中はじめ市議は、まちかど演説会を7月17日に黒田町、石橋町で、24日には秋鹿郵便局前、朝日が丘団地と各地で行い、また、25日には比津支部主催の集いが開催され、6月議会の報告を行いました。

まず田中市議は、大雨災害のお見舞いを述べ、「松江が初めて線状降水帯の豪雨災害を経験した。これまで以上の対策の実施が必要」と訴えました。

続いて田中市議は、6月議会でも上定昭仁市長に対し、原発問題で住民投票に取り組むべきと質したが、市長は否定的な答弁だったこと、選挙公約で訴えた学校トイレの洋式化を教育長に求めたが、早期の実現に向け今後も取り組みが必要と報告しました。

集いでは、尾村利成県議と田中市議が議会報告。参加者から原発問題、道路改修要望が実現したこと等、多くの意見が出され、交流しました。



議会報告を行う田中はじめ市議